

地域おこし協力隊員の活動報告

佐野市では平成27年7月に秋山地区で活動する隊員として平石栄子さんが、平成28年4月にはまちなか活性化に取り組む隊員として池澤智則さん・横手貴史さんのおふたりが、そして平成29年1月に天明鑄物に携わる隊員として大塚由香里さんが赴任し、活動しています。

4人の活動の様子は『佐野市地域おこし協力隊』や『栃木県佐野市伝統工芸「天明鑄物」』というアカウントでのフェイスブックで随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

「あきやま有機農村未来塾」の活動をサポート 秋山地区担当：平石栄子

地元住民による地域おこし団体「あきやま有機農村未来塾」の活動のサポートを主な任務として活動しています。未来塾は「手もみ茶づくり」「酒米からの地酒づくり」「ヤマブドウ栽培からの地ワインづくり」3つの活動を軸に活動しています。それぞれの活動をイベント形式にすることで地元住民と地域外の参加者との交流の場をつくり、秋山の魅力を発見・再確認してもらえればと思っています。田舎暮らしを体験できるお試し住宅づくりも現在進行中です。

また協力隊として「いもフライ研究会」を設立。何種類ものじゃがいもを植え、いもフライに適した品種はどれかを食べ比べました。2年目は竹串や小麦粉づくりにも挑戦しています。親しみやすいB級グルメをきっかけに佐野市や秋山を身近に感じてもらえるよう活動しています。



複数のじゃがいも栽培・収穫からいもフライをつくり、複数のソースで食べたいもフライ研究(左)、地元住民以外にも多くの方に参加いただいたヤマブドウの植樹(上)

「さのまちなかコンシェルジュ」サービスを開始 まちなか担当：池澤智則

地域おこし協力隊としての活動も、早いもので1年が経とうとしています。まちなかの方々、市民の皆さんに温かく迎えていただき、大勢の方とお目にかかることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

昨年12月、地域おこし協力隊としてのサービス「さのまちなかコンシェルジュ」をスタートさせました。これは佐野に来られた観光客の方に対して、観光情報をはじめとした各種サービスを提供するものです。

ここでは、全天球カメラで撮影した360°写真・動画やVR(Virtual Reality)技術を使った、まちなかにいながら佐野市各地の様子をご覧いただける“なんちゃって散策”なども行っていきたいと考えています。

「魅力を掘り起こし、佐野をもっと元気に！」を合い言葉に、佐野の魅力を発信し、多くの人に佐野を訪れていただけるよう、2年目も頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



「国際交流」を通じたまちなか活性化 まちなか担当：横手貴史

これまで、多くの方々に佐野のまちなかを知ってもらうため、隊員の目を通して発見した佐野の魅力、まちなかのイベント情報、新規出店店舗などの情報をSNSを通じて発信してきました。

また佐野を訪れる方により快適に観光を楽しんで頂けるよう、「さのまちなかコンシェルジュ」のサービスを開始しました。

佐野市には両毛ムスリムインバウンド協議会の活動により、ムスリムの方々が訪れるなど、多くの外国人が訪れるようになってきています。

今後もサービスの充実をはかるとともに、海外生活の経験を活かして国際交流を通じたまちなか活性化もできたらと思っています。



ムスリムの方々の目線で、佐野市の魅力を発掘したイベント「ムスリムソン」に参加

伝統ある天明鑄物のPR 天明鑄物担当：大塚由香里



天明鑄物ってご存じでしょうか。実は、市民の方でも知らない方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

天明鑄物とは、1千年以上の歴史があり、かの有名な千利休も使用した佐野市が誇る名品です。現在、実際に鑄物を作っている土地で佐野はもっとも歴史の古い街なのです。

私は本年1月から、その伝統ある天明鑄物のPRをする活動をしています。

今は、天明鑄物に特化したフェイスブックを立ち上げ、30代女性目線で新たな天明鑄物の一面を発信しています。最近では天明鑄物のウェブサイト制作中です。まずは、全国に発信できるインターネットの土台を作ることが急務だと考えています。

また、今後やってみたいこともあります。私はもともとモノを作ることが好きで、天明鑄物を一から実際に作ってみたいと思いました。制作の過程を知ることで新たな発見・見方もできるのではないかと考えています。

それから「職人の技」と「現代のライフスタイル」を融合させた身近で新しい天明鑄物の商品開発も行ってみたいです。工芸品を生活に取り入れることで潤いと癒し、楽しみをご提案できたらよいと考えています。さらに、たくさんの方に見てもらえる機会を増やすために、今まで経験してきたスキルを活かしたネットビジネスも視野に入れていきます。それと合わせて都内などの百貨店、セレクトショップなど販路の拡大に取り組んでいき、より多くの人に佐野の天明鑄物を知ってもらう機会を増やしていきたいです。

永遠に変わらない伝統・芸術の精神の中にも、新しさを取り入れて変化していくことが、佐野の伝統工芸である天明鑄物を後世に受けついでいく一つの方法ではないかと私は思っています。

まだまだ、学ぶことが多くありますので、皆さんからのご意見・情報をお待ちしています。

